



通貨価値



米ドルの 100 分の 1 が日本円、そのまた 10 分の 1 が韓国ウォン・・・かなり大ざっぱですが、こんな分量で海外を旅する方もいるのではないのでしょうか。そして韓国ウォンをさらに 2 ケタ小さくしたあたりが、南米ベネズエラのボリバルという通貨のこのところの価値らしい。

モノ不足によるインフレでボリバルの価値は下がる一方だそうです。今月はじめにマドゥロ大統領が額面 10 万ボリバルのお札を出すと発表したけれど、実勢レートで置き換えると 200~300 円にしかないという。年率 4 ケタに及ぶとされるインフレが続くようです。

1 年たたないうちに 10 円ほどの値になりかねない。アフリカ南部のジンバブエを連想した方がいいかもしれない。2008 年に年率 5 ケタのインフレに見舞われ、09 年には 100 兆ジンバウエドルという法外な額面のお札を発行した。結局ジンバウエドルは信頼を取り戻すことができず、15 年に廃止になり、それ以来米ドルなど外国のお金が法定通貨として経済を回している。そのジンバウエで長期政権を敷いてきたムカベ大統領が退陣に追い込まれた。41 歳年下の夫人に権力を譲り渡そうとして軍や与党の反発を招いた結果です。同時に積年の経済失政もあって人心はとうに離れていたことが現地からの中継映像にうかがえる。ベネズエラのマドゥロ大統領はさぞ真剣に中継に見入ったのでは。

都商会 鎌野



視察研修 in 東京：千葉

商工会の建設部会、3年に1度の研修旅行で、東京・千葉と近場で色々観てきました。3年に1度なのは役員の任期が3年だからです。研修委員長なので、朝から私がまずご挨拶。東名で東京の赤坂迎賓館に向かいました。数年前から使われていない時は見学できるようになり、かなり人気のある見学コースですが、行くのは初めてでした。お酒を飲んでいる方は入場できないということで、とりあえずノーアルコールの車内です。当日は東京マラソン開催日ということで、規制が引かれている場所も多かったのですが、道も施設も空いていて都内らしからぬ静かな感じでした。赤坂迎賓館は聞きしに勝る豪華な建物で、一体造るのにいくらかかったのかと、どうしても考えたくなる様な建物でした。日本人なら一度は見ておきたい場所です。敷地も都内の1等地とは思えぬ広さ、そして手入れの行き届いた綺麗なお庭、外観はヨーロッパのバロック風宮殿様式ですから、集合写真は黙ってればヨーロッパのどこかの国で撮影したみたいに見えます。

そしてお昼は月島でモンジャ焼き、モンジャ焼きも専門店で食べるのは初めてでしたが、焼いて食べるのに時間がかかるので、沢山飲んじゃいますね～。参加者一同、道が空いていて浮いた1時間を、ここで余計に1時間使って帳尻を合わせ、散財して思いっきり飲んじゃいました。午後は徳川家のお狩場だったといわれる、浜離宮恩賜庭園を見学、こちら私初めての訪問でございます。なんだかんだ言って、委員長の権限を利用して、自分の行ったことのない場所をチョイスして、今回の視察研修を組ませていただきました。役得というやつですね。こちらは潮入りの池といって、海の水を池に引き込んでいるため、水位の干満によって水門を開閉します。その後、東京湾アクアラインを通り、鴨川シーワールドの真ん前にあるホテル鴨川館に宿泊、温泉にゆっくり浸かって懇親会、翌日は鴨川シーワールドは建設と関係ないのでスルーして、今から約1300年前に行基菩薩により開かれた、日本寺へ向かいました。これまた行くのは初めてですが、東日本最古の勅願所だそうです。石切り場を利用した日本一の大きさや百尺観音などを、鋸山に登り見学してきました。地獄のぞきと呼ばれる崖のある山頂までは、急な階段が延々と続き、心も体もダメージを受けながら、何とか登山。地獄のぞきに着く前に地獄を見ることとなりました。次回ここに行ったら、バスの中で待つことになるでしょう。そしてその後、成田山新勝寺へ向かいました。実は成田山も初めて行きました。千葉も広いです。鋸山から高速道路を使って1時間半、成田山の参道で鰻重ならぬ鰻も入った昼食を食べ、成田山をゆっくり奥まで見学してきました。今年は1080年祭だそうです。そして帰途に着きました。日本も広いです。まだまだ、観たことのないものが沢山あると感じた2日間でした。



英樹



配り

第 225 便

勝亦製材駿河鉄骨株

住まい塾御殿場教室
TEL (0550) 87-0048
FAX (0550) 87-1237
〒412-0035 御殿場市中山518番地



病む夫に病氣見つかり驚いて

三人の子はかけつけくれる

林なをみ

春たつ日期して凌ぎ来寒の尽

ゆゆし気に降る御殿場の雪

勝亦 りつ子





ご存知ですか？



この原稿を書いている今はまだ、冬季平昌オリンピックが開催中です。過去最低気温の地での開催らしいですが、連日熱い戦いが行われていますね。日本人のメダルにも湧き、普段見る事のない競技にワクワクしています。まあ、オリンピックの話題は他の方に譲るとして、このマーク、皆さんご存知ですか？「耳マーク」と言うそうです。一般の方でこの耳マークを知っている人がどれだけいるでしょうか。恐らく、皆さんほとんどご存じないというのが実情ではないでしょうか。聴覚障害は外見からは分からないため、様々な場面で誤解をされてしまう方々がいらっしゃいます。このマークは、聞こえに不自由があり、周囲の理解、手助けが必要であることを知らせる目的があるのだそうです。このマークを見かけたら、口元を見せてゆっくり話す、必要に応じて筆談でコミュニケーションを図る、などの配慮をお願いします。誰もが住みよい社会になれるように。ところで女子パシュートの金メダル、嬉しいんだけどインタビューは高木姉妹だけじゃなくてチームメンバーの佐藤と菊池のも放送して欲しいなあ。

柳田 敏和

フリクタイム



近頃は『あんな人、こんな人』とすぐに人を鑄型にはめて納得しようとする傾向があるけれど、そんな簡単なものじゃない。彼を理解しようと書き始めた小説ですが、書いているうちにわかりました。

相手がどんな人間であれ、理解するのではなく、ただ受け入れるしかないのだと。

この世で起こることはすべて修行だと思えばいい。

カー杯生きて『ああ面白かった』。と言って死ねれば、それがいちばんじゃありませんか。

作家 佐藤愛子



陽のあたらない場所



半月前に帰省した娘に買いに行ってもらって用意した大豆と塩。昨日からの始めた味噌作り。徒歩往復一時間三十分の道を弥次喜多道中よろしく麴屋へ麴買いに。今年は、予約せねば買えない程、皆様に味噌づくりが人気のようです。一昼夜吸水させるとして、大豆は今朝水に浸した。味噌作りに関して、亡くなった母の教えは二つ有ります。一つには、味噌は節分前には仕込まなければと。しかし、年々なまくらになる我が身体。一月末に風邪菌に付け入れられ、意気消沈。漸く二月後半のこの時期の仕込みとなりました。

この作業が何かと一悶着な我が家のイベントです。比較的大雑把な私と経理畑出身の相方。豆のつぶし加減、塩の混ぜ具合等諸々。ようよう甕に詰めて、発酵、熟成を待つという段取りです。二つ目の母の教えとテキストを鑑みて、『北側の庇の下の陽のあたらない場所』に甕を据えました。不意に“陽のあたらない場所”のフレーズに反応したのは“陽のあたる場所”という映画のタイトルでした。検索すると、1952年各部門でのオスカー賞受賞のアメリカ映画。貧しい青年が華やかな社交性という謂わば“陽のあたらない場所”で生き抜くのです。味噌も陽のあたらない場所でなければ、発酵・熟成しないのです。風味豊かな味を醸し出すことは出来ないのです。人も然り。との、手前味噌な締めになりました。

栗原



気



平昌オリンピック、日本人が活躍していたので、面白かったですねえ。にわかファンの一人ですが。マスタート、ルールはいまいち解りませんでした。駆け引き有りの最後のイン抜きは、解説者の『よし！！行け！！』の掛け声とともに視聴しているこちらも、思わず力が入ります。誰でも行けるオリンピックではありません。私の様にあまり負けず嫌いではない人間はアスリートに向いてないな。(笑)但し、前に越えなければならぬ壁や人間がいると、追い越したくなる。この時、もうだめだ！無理だ！動けない！と頭で考えると、身体がうごかない・・・。重くなる。これが、大丈夫！動け！追い越せる！行け！！と自分に言い聞かせると、これがどうにか、その通りに動く。こんな経験はないでしょうか。面白いですねえ人間て。私が私に言い聞かせている『前をみろ！』って感じ。アスリートとは次元が違うか・・・。脳をだませばいいのだろうか。私はスペインへ行ってサクラダファミリアの前に立ちたいっていい聞かせればどうにかなるかな。違うはなしか。

ねがみ